

班活動報告7 (工作部門3)

工作部門 ガラス・木材加工技術班

佐藤 勇

1. はじめに

ガラス・木材加工技術班は、工作部門に所属しものづくりによる研究・教育支援を行っているものづくり専門の班である。現在スタッフは、ガラス加工担当4名、木材加工担当1名で日常業務を行っている。以下それぞれの担当ごとに業務内容を報告する。

2. 業務内容

(1) 木材加工

- ・各学科の教室や附属施設からの製作依頼を受け架台・本棚・机・試験片など木工製品全般の製作・修理・改良等
- ・教職員・学生への木工製品製作、改良のための考案・設計アドバイス
- ・木材加工用機械類の保守管理



上の写真は、附属幼稚園からの製作依頼を受け製作した本棚と低温実験部から製作を依頼されて製作した超流動実験装置、外枠を木材加工室で製作し内側のデュワービンをガラス加工室で製作した製品。

(2) ガラス加工

- ・各学科の教室や附属施設からの製作依頼を受け理化学用ガラス機器の製作・改良・修理

- ・ガラス・セラミックなど脆性材料の切断・研磨・穴あけ加工
- ・石英ガラスの加工
- ・学生のガラス細工実習時の実演と実習補助
- ・ガラス加工用機械類の保守管理



上の写真は、ガラス加工室で製作している理化学用ガラス機器とジョイント・コック類。

3. 地域貢献

学部公開に毎年参加し木材加工は植物管理室で簡単な木工製品を、ガラス加工は理学部ピロテーターでとんぼ玉などのガラス細工を来場者に作ってもらいものづくりを体験してもらっている。

4. おわりに

木材加工作業は依頼された工作物によっては複数で作業を行ったほうが効率もよく作業も安全に進められる。しかし現状では基本的に一人で作業を行っている。班内での支援体制は整いつつあるが製作依頼品によっては技術的な問題もあり十分な支援は出来ていない。今後の課題として構成員の技術教育を進め班内の支援体制の強化を図りたい。